

2. 疥癬について

1. 原因及び感染経路

疥癬は疥癬虫（ヒゼンダニ、以下単にダニと表記）が人の表皮内（皮膚の表面）に寄生することでおこる、「痒みの強い」皮膚感染症です。感染の経路は主として皮膚から皮膚で、重症の疥癬（いわゆるノルウェー疥癬）ではダニが付着した寝具・衣類を介して感染することも稀にはあります。

2. ケアの具体的方法と注意

- ・ 早期診断・早期治療でピンポン感染をさけることが重要です。
- ・ 治療が成功しても「夜間の激しい痒み」や一部の症状は2～4週間は続きます。
理由：治療でダニが死んでいても、虫体・糞・卵などが2～4週間皮膚に残っているからです。
症状は、虫体・糞・卵に対するアレルギー反応で起こるためと考えられています。
- ・ シーツ・肌着・寝具・タオルなどは交換後、洗濯し乾燥させます。なお心配なら、乾燥機・アイロンを使用すると良いでしょう（ダニは乾燥や熱に弱く50℃-10分で死ぬ）。
- ・ シーツ交換は、四隅を内側にまとめダニが散乱しないように気をつけましょう。
ダニが床に落ちても、一般の家庭環境では2-3日でダニは死ぬので、心配する必要はありません。
- ・ 掃除は普段通りでかまいません。
- ・ ふつうの疥癬は、握手などではうつらないので、重症疥癬以外、長袖の衣類・ガウンや（ゴム/ナイロン）手袋を使用する必要はありません。

3. 家族への説明

- ・ 家族への説明で最も重要なことは、接触した家族は「症状がなくても」、皮膚科医師の検診を受ける必要があるということです。
- ・ 一般家庭では、厳密な感染対策は不要で、経過が長いので、多少ルーズでも良いから焦らない、などと説明してあげましょう。（上記 2. ケアの具体的方法と注意 参照）

4. 介護者の安全対策（重症疥癬の場合）

重症の疥癬患者の介護をする際は、（ゴム/ナイロン）手袋、長袖の衣類（エプロン）を使用します。

使用した衣類（エプロンを含む）は、洗濯をし乾燥するだけで良いのですが、心配なら洗濯の前に熱湯（50℃以上）に10分つけると良いでしょう。

介護者は爪を短く切っておきましょう。

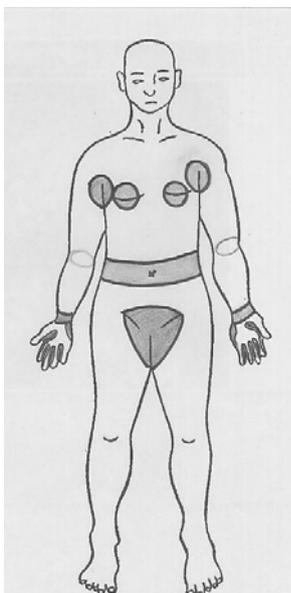
感染は皮膚から皮膚の接触感染なので、手袋・長袖の衣類着用で介護をすれば、手指の特別な洗浄の必要はありません。また適切な治療で24時間後にはダニは感染力を失うので過剰に怖れることもありません。

5. その他

1) 症状

ダニが感染して約1~1.5か月経過してから、主な症状が出現します。

主な症状は「夜間の激しい痒み」、図の様な場所に皮膚が少し盛り上がったトンネル様の皮疹、全身に赤いブツブツ（丘疹・結節）、引っ掻いた為の傷跡（掻破痕）が出現します。約80%の患者さんでは指間を中心とした手にトンネルが出現します。



トンネルの好発部位

両手
腋
胸
ベルトライン
臀部
股

- ・夜間の掻痒
- ・図の様な場所にトンネルないし、赤いブツブツ（丘疹・結節）
- ・家族に同様の症状
- ・副腎皮質ホルモンの外用剤で悪化

などの症状があれば、「疥癬」を疑い専門医の診断を受けるのが望ましい。

2) 治療

医師の指示通りに（外用・内服など）。

3) その他

重症疥癬以外の疥癬は強い感染性を持たず、免疫力の強い家族や介護者は、適切な治療をすればすぐに治ります。したがって、予防を目的とした洗浄、ムトウハップ・オイラックスの使用は避ける方が賢明です。

「疥癬」は、恐ろしい感染症ではなく、次々に感染するのは不適切な対応（多くは外用副腎皮質ホルモン剤の誤使用）が原因です。

【注】確定診断ができていなくても「疥癬」を疑うようなケースでは、重症疥癬に準じて介護すること。また同時に主治医と相談して、早急に皮膚科専門医の意見を得ることが必要です。